

# みたび

2013.2.15  
No.108  
議会だより



(迎春の会 御高城址公園からの初日の出)

## 主な内容

- ◆第4回定例会 ..... 2ページ
- ◆第4回臨時会 ..... 6ページ
- ◆そこが知りたい ～ 一般質問 ～ ..... 7ページ
- ◆常任委員会視察研修報告 ..... 13ページ



【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果	
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢 まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治		高山 由行
議案第68号	加茂郡坂祝町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第69号	加茂郡富加町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第70号	加茂郡川辺町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第71号	加茂郡七宗町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第72号	加茂郡八百津町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第73号	加茂郡白川町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第74号	加茂郡東白川村と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第75号	可茂消防事務組合理約の一部を改正する規約について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
発議第1号	御嵩町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
発議第2号	亜炭廃坑の対策についての要望書	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
発議第3号	御嵩町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

## 平成24年度 補正予算

承認第4号	専決処分の承認を求めることについて（平成24年度御嵩町一般会計補正予算（第7号））	【12/16実施の衆議院議員選挙に係る執行経費】 歳入：県支出金、選挙委託金の計上 歳出：選挙執行経費の計上	賛成全員で可決
議案第53号	平成24年度御嵩町一般会計補正予算（第8号）について	歳入：国、県負担金の増額、基金繰入金、町債の減額 歳出：特別会計への繰出金、障害者自立支援給付費の増額、上水道会計への出資金の減額	賛成全員で可決
議案第54号	平成24年度御嵩町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	歳入：一般会計繰入金の増額 歳出：国、県負担金返還金の増額	賛成全員で可決
議案第55号	平成24年度御嵩町介護保険特別会計補正予算（第2号）について	（保険事業勘定） 歳入：支払基金交付金、一般会計繰入金、基金繰入金の増額 歳出：保険給付費の増額	賛成全員で可決
議案第56号	平成24年度御嵩町下水道特別会計補正予算（第2号）について	歳入：受益者負担金の増額 歳出：基金積立金の増額	賛成全員で可決
議案第57号	平成24年度御嵩町水道事業会計補正予算（第2号）について	水道未普及地域解消事業工事請負費減額に伴う国庫支出金、出資金の減額	賛成全員で可決

**平成24年度 補正予算のあらまし**

（単位：千円）

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
承認第4号関連	一般会計補正予算（第7号）	6,513,797	8,600	6,522,397
議案第53号関連	一般会計補正予算（第8号）	6,522,397	△ 4,817	6,517,580
議案第54号関連	国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	2,149,938	37,870	2,187,808
議案第55号関連	介護保険特別会計補正予算（第2号） 保険事業勘定	1,291,635	64,260	1,355,895
議案第56号関連	下水道特別会計補正予算（第2号）	914,287	3,413	917,700
議案第57号関連	水道事業特別会計補正予算（第2号）	1,113,517	△ 37,760	1,075,757

**条 例**

議案第58号	御嵩町暴力団排除条例の制定について	暴力団排除について、町の責務、町民の責務などを定めた新規条例を定めるもの	賛成全員で可決
議案第59号	御嵩町防災会議条例等の一部を改正する条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、防災会議と災害対策本部の役割の見直し、地域防災計画策定への多様な主体（自主防災組織、学識経験者）の参画を定めるため2本の町条例を改正するもの	賛成全員で可決
議案第60号	御嵩町町営住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、公営住宅の整備基準及び入居資格者の収入基準を条例で規定するもの	賛成全員で可決
議案第61号	御嵩町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、一般廃棄物処理施設に置く技術管理者が有すべき資格要件を規定するもの	賛成全員で可決
議案第62号	御嵩町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、地域密着型介護サービスの運営基準などを新規条例で定めるもの	賛成全員で可決
議案第63号	御嵩町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、地域密着型介護予防サービスの運営基準などを新規条例で定めるもの	賛成全員で可決
議案第64号	御嵩町指定地域密着型サービス事業者等の指定に関する基準を定める条例の制定について	国の法律、政省令で定められた介護保険サービス事業者の指定等に関する基準を新規条例で定めるもの	賛成全員で可決
議案第65号	御嵩町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、条例中にある政務調査費の名称を政務活動費へ変更するもの	賛成多数で可決

**議員発議**

発議第1号	御嵩町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	関係する法律の施行に伴い、常任委員会への所属義務を規定、委員の選任等を議長の指名・許可とするため改正するもの	賛成全員で可決
発議第2号	亜炭鉱廃坑の対策についての要望書	「特定鉱害復旧事業等基金の拡充」「鉱害予防制度の創設」を国の関係機関に対して要望するもの	賛成全員で可決
発議第3号	御嵩町議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	関係する法律の施行に伴い、本会議においても委員会同様、公聴会の開催や参考人の招致ができることになったため改正するもの	賛成全員で可決

## その他の議案

議案第66号	美濃加茂市と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を美濃加茂市に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第67号	可児市と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を可児市に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第68号	加茂郡坂祝町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を坂祝町に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第69号	加茂郡富加町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を富加町に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第70号	加茂郡川辺町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を川辺町に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第71号	加茂郡七宗町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を七宗町に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第72号	加茂郡八百津町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を八百津町に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第73号	加茂郡白川町と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を白川町に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第74号	加茂郡東白川村と可児郡御嵩町との間の証明書の交付等に係る事務委託に関する規約について	戸籍、住民票、印鑑証明、税証明の交付事務を東白川村に委託するための規約を制定するもの	賛成全員で可決
議案第75号	可茂消防事務組合理約の一部を改正する規約について	岐阜県からの権限移譲事務（高圧ガス保安法に基づく許可業務など）を可茂消防事務組合で共同処理するため組合理約を改正するもの	賛成全員で可決

## 諸般の報告（議長報告）

(1)	上之郷地域活性化に関する要望書	上之郷地区自治会長会 御嵩町消防団第1分団
(2)	「国民健康保険に対する国庫負担率の引き上げを求める意見書」採択を求める陳情	岐阜県保険医協会
(3)	「資格証明書の交付の廃止を求める意見書」採択を求める陳情	岐阜県保険医協会
(4)	技術職員に関する要望書	岐阜県建設技術協会
(5)	福祉・保育労働者の処遇改善・人権確保に関する国への意見書採択についての陳情	全国福祉保育労働組合東海地方本部
(6)	常任委員会所管事務調査報告書（※関連13ページ）	民生文教常任委員会 総務建設産業常任委員会
(7)	定例監査実施報告書	御嵩町監査委員会
(8)	現金出納検査結果報告	(平成24年8月分から平成24年10月分)

## 諸般の報告（町長報告）

報告第11号	専決処分の報告について（伊岐津志線（1号箇所）復旧工事変更契約）
報告第12号	専決処分の報告について（損害賠償の額）

## 平成24年 第4回臨時会

平成24年10月31日に、平成24年第4回臨時会を開会しました。  
上程議案が4件と報告案件3件(町長報告)がありました。

### 議案の審議結果

【表示記号】 賛否状況：○…賛成 ×…反対 欠…欠席 —…議長のため採決に加わらない 議決結果：◎…可決、承認、認定 ●…否決、不承認、不認定	議 員 名											議決結果	
	谷口 鈴男	佐谷 時繁	岡本 隆子	大沢 まり子	植松 康祐	伊崎 公介	加藤 保郎	山田 儀雄	柳生 千明	安藤 雅子	山口 政治		高山 由行
議案第49号	平成24年度御嵩町一般会計補正予算（第5号）について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第50号	工事請負契約の一部変更について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第51号	平成24年度御嵩町一般会計補正予算（第6号）について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎
議案第52号	和解について	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎

### 予 算

議案第49号	平成24年度御嵩町一般会計補正予算（第5号）について	歳出：町道御嵩169号線道路新設事業の増額、増額分を財政調整基金積立金で減額	賛成全員で可決
議案第51号	平成24年度御嵩町一般会計補正予算（第6号）について	歳入：東鉄タクシー(株)からの和解金を計上 歳出：和解金と同額を財政調整基金積立金で増額	賛成全員で可決

### 補正予算のあらまし

(単位:千円)

	会 計 名	補正前予算	補正額	補正後予算
議案第49号関連	平成24年度御嵩町一般会計補正予算(第5号)	6,490,996	0	6,490,996
議案第51号関連	平成24年度御嵩町一般会計補正予算(第6号)	6,490,996	22,801	6,513,797

### その他の議案

議案第50号	工事請負契約の一部変更について	町道井尻大久後線復旧工事の契約金額の変更によるもの	賛成全員で可決
議案第52号	和解について	東鉄タクシー(株)に対する平成21・22年度業務委託料返還請求訴訟に関し、和解をするためもの	賛成全員で可決

### 諸般の報告(町長報告)

報告第8号	専決処分の報告について（(都)大泥茶円原線道路改良工事変更契約）
報告第9号	専決処分の報告について（(都)大泥茶円原線道路改良工事変更契約）
報告第10号	専決処分の報告について（(都)大泥茶円原線道路改良工事変更契約）

平成24年 第4回定例会

# そこが知りたい

一般質問は12月11日に行われ、5人の議員が活発な質問をしました。

## 1 高山 由行 議員 …… 8 ページ

○防災行政について

## 2 岡本 隆子 議員 …… 9 ページ

○公共施設更新問題について  
○町の環境保全のための条例制定について

## 3 大沢 まり子 議員 …… 10 ページ

○「子ども・子育て関連3法」成立を受けて  
○「小型家電リサイクル法」成立を受けて  
○「24時間健康相談」事業の導入を求む

## 4 山田 儀雄 議員 …… 11 ページ

○避難道路の新設について  
○上之郷地域活性化について

## 5 山口 政治 議員 …… 12 ページ

○主要町道の草刈り等維持管理について  
○丸山ダム下流の木曾川に架かる仮橋（のぞみ橋）について

### あなたも議会を傍聴しませんか

議会では、町民の皆様の暮らしに密着した重要な問題が審議されます。

所定の受付簿に住所、氏名等を記入し、傍聴券の交付を受けることにより、町議会を傍聴することができます。お気軽にお越しください。

くわしくは、議会事務局までお問い合わせください。

☎ 67-2111（内線 2252）

### 文責についてお知らせ

一般質問の「問・答」は、質問議員本人の文責です。一般質問のページに掲載した内容について、議員に直接連絡がつかない場合は、ご質問の内容、お名前、連絡先（住所、電話番号等）を添えて、議会事務局まで書面にてお届けくだされば、各議員に連絡いたします。

## 町議会の 一般質問を 放映しています

議会で行われた一般質問をケーブルテレビ可児で放映が行われています。当日に生放送がされる予定ですが、録画放送及び再放送もされますので、町議会を傍聴することが出来ない方は、ぜひご覧ください。

# 防災行政について



高山 由行

**問** 本年度の防災訓練について

本町においては、2年続きの豪雨災害もあり、東日本大震災を受け、着々と防災に対するの施策を行なっている所であるが、防災訓練の実施内容も充実させていく時期である。9月に行なわれた防災訓練の点検、評価、来年度に向けての訓練の考えを伺う。

**答** 【総務部長】

今年の防災訓練では、訓練目的の周知不足、避難所でのリーダー役の不在など、反省点の多い訓練であったと総括している。これを踏まえ10月に対策会議を開催し反省点の洗い出しと、来年

度の防災訓練に向けての対策をまとめた。今後、意識啓発などは直ちに実施し、防災リーダーの不在は、防災アカデミー受講者に担っていただけよう働きかけていきたい。

**問** 御嵩町地域防災計画の見直しについて

国、県の防災計画の見直しにあたり、本町においても地域防災計画の見直しを2ヶ年で改定するが、改定のスケジュール、また避難所の安全性と見直しは検討されるか。改定に時間がかかる様であれば指定変更の前倒しができないか伺う。

**答** 【総務部長】

本町の防災計画の見直しは、県の地域防

災計画の見直しに沿ってこの10月から平成26年2月末を目途に行なっている。一昨年、昨

年の豪雨災害では、避難所としての安全性が危ぶまれる避難所もあり、避難所も水害や地震など災害の種類別に、また被害想定エリア別に指定するなど直ぐにでも必要な変更は、改定を待たず運用上の変更でスピーディに対応をしていきたい。

**問** 自主防災組織の育成、活性化策について

本町の自主防災組織は自治会を中心に活動しており活動助成も受けていますが、防災リーダー、防災士が多く生まれ今、協力の中心となる自主防災組織の活動内容と今後の育成について伺う。

**答** 【総務部長】

今年度「防災アカデミー」を開催し、受講者には防災リーダーとしての基礎知識を付けて頂いた。来年度以降も講座は継続して行いたい。

今後は受講者が地域防災組織の中心となつて、実際の災害時に対応できる避難所運営や避難経路の策定に取り組んで頂き、町もこれを積極的支援をしていきたい。

**問** 公共施設の耐震について

本年大震災、大災害時の役場機能が喪失しない様に耐震補強を考へての調査があるが、垂炭廃坑のある現状を考へての公共施設の耐震の施策を伺う。

**答** 【町長】

災害時にはいかに役

場を早く機能させるかが重要であり、現実的対応で耐震化の調査を開始した。

庁舎の地下充てんについては現在制度がないので、予算の要求等をした。

現在耐震の対応が必要な施設は、新設も含めた議論をしていきたいと考える。

**問** 他自治体の災害時応援協定について

災害時応援協定に進化しうる友好関係が築ける他自治体は考へているか伺う。

**答** 【町長】

協定の相手の模索を続けているが、困難さを感じている。

縁を感じる自治体に呼び掛け、関係を構築したいと考える。

# 人口・収入減に向かい公共施設建替え・修繕はどう取り組むか



岡本 隆子

## 問

御嵩町では昭和50年代に多くの公共施設が建てられ、それが今後いつせいに建替えの時期を迎える。それにあわせて高齢化と人口減少が進み収入減が見込まれる。

そうすると、町内のすべての公共施設をそのまま建てかえるための財源が不足する事態となる。この問題に対応するために、公共施設白書と再配置計画の策定が必要となる。

①今後の御嵩町の人口減、財政状況についてどのように考えているのか。

②公共施設の更新問題についてどのように考えるか。

## 答

③公共施設白書作成と再配置計画についてどのように考えるか。具体的な取り組み策をお聞きしたい。



神奈川県秦野市公共施設白書

## 答

【総務部長】

①本町では平成7年をピークに人口が減少に転じているが、水道未普及地の解消などインフラ整備や、児童の医療費無料化などで安全・安心のまちづくりを推進し、人口減少の抑制と企業誘致を積極的に行い財政基盤の安定を図って行きたい。

## 問

町の環境保全のための条例制定について

前沢地区に医療廃棄物の中間処理施設建設が計画されたが、地域住民の方々、環境審議会、行政が一丸となって対応したため、業者が申請を取り下げることとなった。しかし、依然としてその土地は業者のものであり、地域住民の不安はぬぐいきれない。しかも近年高齢化に伴い、土地の管理に困るといふ声も聞くが、産廃問題だけでなく、採石、残土処理も含めて生活環境に大きく影響を及ぼすようなものは、そこに住む住民の意向が尊重されなければならない。基礎自治体が主体となった条例に基づく法政策が望まれる。

## 答

【総務部長】

条例制定についてどのように考えるか。

今回の感染性産業廃棄物処理施設建設は、法令上の分類が「廃プラスチック類の破碎施設」としての規制内容であり、法律の想定しているものが現実の状況に適切していないという印象を持った。町長から、今後このような計画から住民の安全・安心を担保するための対策を講ずるようにと指示があり、現在どのような手法が有効か検討を行っている。



申請取下げ地

# 子育て施策・健康施策の拡充を



大沢まり子

## 問 子ども・子育て関連3法」成立を受けて

①「地方版子ども子育て会議」の設置に対する見解は。

②事業計画の策定にあたりニーズ調査のための25年度予算計上を考えているか。

## 答

【民生部長】

①地方版子ども・子育て会議設置の目的は、子どものための教育や保育の充実であります。

町におけるこの会議の設置については、強制的ではなく努力義務となつていますが早ければ本格稼働が平成27年度からとなりますので、町では地

方版子ども・子育て会議を設置し、協議を行つてまいります。

②平成25年度中に子ども・子育て支援事業計画の内容検討に入る予定で、国から示される現在の子ども・子育て支援策の把握と評価及びニーズ調査指針に即して町としてもニーズ調査を実施する予定であります。

## 問

【民生部長】

「小型家電リサイクル法」成立を受けて

①当町はどのような方法で回収に努められるか。

②国の補助を活用しているか。

## 答

【民生部長】

問 「24時間健康相談」事業の導入を

①町では、現在不燃物のごみ処理をさきゆりクリーンパークにおいて実施しています。ここでは不燃物に含まれる金属についても溶融メタルとして収集し売却しています。小型家電リサイクル法への対応につきまして、は、収集、運搬等に費用が必要となつてまいりますので、費用的に負担が少なく、最良の方法につきまして、引き続き調査・検討を進めてまいります。

②現段階では、調査・検討を行つている段階でありますので、国の補助制度の活用は、行つていません。

## 求む

①岐阜県市町村職員共済組合が導入している「健康ホットライン24」の啓発と利用についての見解は。

②町民向けの「24時間健康相談」事業の導入を求む。

③「心の体温計」の導入を求む。

## 答

【総務部長】

①「健康ホットライン24」は、年中無休で電話、ウェブを使って市町村職員及びその家族向けに健康・医療相談を行うサービスで本町ではメンタルヘルス研修時に周知を図つている。本町職員の利用実績については、個人情報であり把握していない。

## 答

【民生部長】

②24時間健康相談事業を実施すると、約

300万円の費用が必要となります。また、この事業を民間生命保険加入の付加サービスとしている生命保険会社も増えつつあります。この事業の導入につきまして、可茂管内市町村の動向を注視しながら、今後の方向性について、調査・検討を進めてまいります。

③岐阜県自殺予防緊急対策事業の平成25年度要望を行つております。事業採択がされ、予算が確保できれば、予算となれば、速やかに導入及び稼働作業、並びに啓発活動に着手していきたいと考えております。



心の体温計

# 防災避難路整備と地域活性化について



山田 儀雄

## 問 防災避難道路の新設について

昨年9月20日に発生した台風15号に伴う豪雨は、特に町東部上之郷地区での国道・県道・町道・河川等に甚大な被害をもたらしました。

この豪雨災害は、国道21号線に南北に繋がる道路が6路線（県道2、町道4）その全ての路線で通行止めなどの規制がかかり一時的に孤立した地区も発生しました。

こうした状況の中で住民の方々は比較的被害の小さかった町道井尻大久後線（エコーロード）を避難路・通勤・通学路として

利用されていた経過があります。

このエコーロードは新

丸山ダム建設に伴う資材運搬道路として整備されました。その20数年前にはこの地域に団地造成計画があり、小原自治会から住宅団地に繋がる道路の新設要望が提出されています。具体的には、樋ヶ洞地区からエコーロードまでの約200メートルであります。

今後の防災避難対応と、地域の主要道路（三反田く切木線）の冬季の道路凍結による事故多発防止の観点からも、防災避難道路整備に係る国・県の補助を受けた中で、この道路を新設

することについて伺いたい。

## 答

エコーロード建設の際には、大変多くの紆余曲折があった。

【町長】  
 昨年9月の町長選挙後、上之郷地区の集落の孤立について議論を始めていたが、9・20災害が発生したことで、現実に孤立が発生し、また想定外の次月地区が孤立したことが驚きであった。現段階では、ハード面でも事前にできることはやるべきだと考えている。

小原からエコーロードへのアクセスであるが、基本的に新設よりは二級町道の内門・山田線の改良が現実的ではないかと考えてい

る。今後、こうした孤立化する地域については、それを避けることができるような施策を考えていきたい。

地権者の条件を調査し、整備の際には有利な財源を活用していきたいと考えている。

## 問 上之郷地域活性化について

9月4日に上之郷自治会長会と消防団第一分団長の連名により「上之郷地域活性化に関する要望書」が町長、議長宛に提出されました。その内容は、地域の中心地において農協の移転や小売店・飲食店の閉店が相次いでおり、地域の活性化を考え

たとき、旧農協跡地は民間に渡ることなく町で買収し、その利用は、30余年が経

過し老朽化した消防車庫、詰所の移転と防災の活動拠点となる「防災センター」の設置であります。

現在、更地となった旧農協跡地の買収見直しはどうか。

## 答

【町長】  
 東日本大震災以来、現在御嵩町に無い施設の必要性を防災面で論じていく必要が大いにありと考える。

現段階で、要望書の内容と私の思いはある程度合致しており、多目的施設の設置を考えている。

上之郷には平常時にお年寄りが集まる施設は無く、垂炭廃坑の存在しない位置で防災との複合施設を考え、財源も有利なものなので議会にご相談させていただく。

# 町道の維持管理について



山口 政治

**問** 町道の草刈り等維持管理について

町道の除草作業・落石や倒木の撤去等を最寄りの自治会でやっている地区が多くあります。

大切な生活道路なので、積極的に奉仕作業に取り組んでおられますが、高齢化や独居等で参加者は年々減少しており、十分な作業が出来なくなっています。このままでは適正な町道の維持は難しくなると思われま

①地元自治会に草刈り等ゆだねているところはどれくらいあるのか。

②町での維持と地元

自治会任せの維持では不公平である。少しでも是正は出来ないか。

③今後行き詰ると思われる町道の維持管理について何か対策は考えているか。

**答** 【建設部長】

町道の大部分は山間地のため、未整備未改良の箇所が多く、維持管理へのニーズは増加傾向にある中、道路の清掃美化、簡易な維持補修を行っていたらいたるところです。①上之郷地区を中心に約23路線の町道の草刈を行っていたら

ています。原材料を支給して維持補修をしていただけたところが2箇所あります。

②原材料の支給や町の傷害保険に加入していただけて、活動が円滑に行われるようサポートしています。

③道路などの維持管理を行っていたらいたるところです。

「みたけロードサポート」制度を普及・浸透させ、「みたけをきれいにし隊」「ぎふ・ロード・プレーヤー」を広め、また、県の緊急雇用創出事業を活用するなどしていきたいと考えています。

**問** 丸山ダム下流の「のぞみ橋」について

県道井尻八百津線

飛騨木曾川公園線が交わる丸山ダム下流ののぞみ橋は、大久後トンネル掘削工事に伴い架けられた仮設の橋です。

工事が完了した後、のぞみ橋と名付

けられ、今では一般車両や歩行者が毎日利用する重要な橋となつていきます。しかし、重量制限等の規制表示はありません。

①仮設橋が架けられてから7年以上経過しているが安全確保は出来ているのか。

②当初計画されていた橋が着工される目途はあるのか。

**答** 【建設部長】

①大久後トンネル建設時に設置された仮橋を利用しているもので、大型車の通行も可能で、車両総重

量25トンの大型の自動車想定して設計していると聞いています。

②新丸山ダム建設事業において付け替える計画となつている県道井尻八百津線の新小和沢橋と考えます。事業者である国土交通省によると、具体的なスケジュールなどは未定とのことですが、県道井尻八百津線は、周辺の方々の生活道路でもあり、町として引き続き早期着工を求めています。



のぞみ橋

## 平成 24 年度総務建設産業常任委員会所管事務調査報告書

- 1 視察研修目的 公共施設白書から再配置計画（秦野市）  
公共施設更新問題に対する取り組み  
まちづくりと地域振興（小田原市）  
中心市街地現況と回遊性の向上
- 2 視察研修日 平成24年11月7日(水)・8日(木)
- 3 視察研修先 神奈川県秦野市・小田原市
- 4 参加委員 委員長 伊崎 公介 副委員長 加藤 保郎  
委員 谷口 鈴男 委員 岡本 隆子  
委員 山口 政治 委員 高山 由行
- 5 視察研修結果

### <神奈川県秦野市>

#### (1) 秦野市の概要

人口：169,977人（H24.11.1 現在）  
世帯数：70,564世帯（H24.11.1 現在）  
面積：103.61km<sup>2</sup>



#### (2) まとめ

現在の公共施設面積を維持すれば、住民一人当たりの面積は増大し、住民一人当たりの負担が増大するのは、どの自治体においても人口減少、少子高齢化が進む以上避けられない問題であり、御嵩町でも秦野市以上に深刻な問題である。

御嵩町の人口推計に当てはめてみれば、現在 3.27m<sup>2</sup>/人である住民一人当たりの公共施設的面積が、平成 47 年には 4.34m<sup>2</sup>/人に膨れ上がり、生産年齢人口一人当たりであれば、現在は 5.25m<sup>2</sup>/人であるが、平成 47 年には 8.48m<sup>2</sup>/人と約 1.6 倍に膨れ上がることになる。この数字で秦野市と比較するならば、秦野市が 2.90m<sup>2</sup>/人から 3.51m<sup>2</sup>/人へと約 1.2 倍に増えるのみであることからして、秦野市の生産年齢人口一人当たりの増加率は御嵩町の 75%程度である。

秦野市の取り組みをそのまま当てはめるならば、御嵩町の高齢化率からすると将来は現在の 3.27m<sup>2</sup>/人から、将来は  $3.27 \times 0.87 \times 0.75 = 1.69\text{m}^2/\text{人}$  に減らす必要があり、公共施設面積自体を現在の 62,480m<sup>2</sup> から大幅に減らして 30,636m<sup>2</sup> にする必要があり、これは現在の公共施設面積を 49% に減らさなければならないこととなる。秦野市の例が絶対というわけではないが、これは容易ならざる数字であり、少子高齢化により次世代に対する負担が増加する中、公共施設に対する負担を次世代に残すことはできない。今後、利用状況等のデータを収集し、公共施設の建設に当たっては、真に必要なものであり、必要なもの以外は建設しないという強い決断が必要である。現存の公共施設は効率的に利用されているかを徹底的に見直していく必要がある。ともあれ、公共施設面積を現在の半分以下にするならば、相当の強い覚悟をもってあたらなければならない。

今回の研修には、担当課の企画課、財政担当者が同行し研修を受けた。委員会としても、将来に禍根を残さぬよう公共施設のあり方を議論していきたい。

## <神奈川県小田原市>

### (1) 小田原市の概要

人 口：196,926 人  
 (H24.4.1 現在)  
 世帯数：78,499 世帯  
 (H24.4.1 現在)  
 面 積：114.06km<sup>2</sup>



### (2) 中心市街地の現況

小田原市全域と比較して、小田原市の中心市街地は人口、商品販売額、売り場面積等は平成に入ってより大きく減少しており、高齢化率は高くなった。それに伴って空き店舗や未利用地、低利用地も目立つようになった。原因としては商店街流動客数が60%以上減少し、流動客が小田原駅を離れるほど少なくなることが判明した。小田原駅自体の利用者の減少はみられず、入込観光客数も市全体では大きな変化は見られなかったが、市中心部の入込客数は30%程度の落ち込みがあった。

### (3) 回遊性の向上

#### ①街角博物館

平成9年度より地域に根差した店舗を街角博物館として整備し、地域の産業の振興を図るとともに、中心市街地の回遊性を向上させ、街中の賑わいを創出する事業を展開した。現在は18軒を認定しており、街角博物館のネットワーク化を図り、博物館の魅力を高め、来訪者への情報を発信するための館長連絡協議会を各館の館長で組織している。また、研究会議を運営している。

#### ②小田原宿なりわい交流館

平成12年度より、旧東海道周辺を東海道小田原千年蔵として、「小田原交流館 角吉」を設置した。これは昭和7年に建設された旧網問屋で旧東海道小田原宿の拠点として復元し、観光客の増加や地域の交流を図り、中心市街地の回遊性の向上を図った。

### (4) NPO法人まちづくり応援団

福岡藩主で貴族院副議長を30年間務めた旧黒田長成邸である清閑亭でNPO法人まちづくり応援団の説明を受けた。

まちづくり応援団は市より1,800万円の補助を受けて、歴史的まちづくりの改修工事などを行っている。会員は平成23年度には1万6,000人であったが、平成24年度には2万人を目標にしているとのことであった。清閑亭では喫茶コーナーなども運営しており、売り上げは約600万円で、利益も300万円ほど生じたという。NPO化は平成16年で13名が専門知識を有しており、それぞれの立場で指導にあたっているという。

## 平成 24 年度民生文教常任委員会所管事務調査報告書

- 1 視察研修目的 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険  
各事業運営について
- 2 視察研修日 平成 24 年 10 月 16 日（火）・17 日（水）
- 3 視察研修先 岐阜県飛騨市・長野県高森町
- 4 参加委員 委員長 佐谷 時繁 副委員長 山田 儀雄  
委員 植松 康祐 委員 大沢まり子  
委員 柳生 千明 委員 安藤 雅子
- 5 視察研修結果

### 〈岐阜県飛騨市〉

#### 社会福祉施設

- 老人福祉センター 3 施設、養護老人ホーム 1 施設、特別老人ホーム 4 施設
- デイ・サービスセンター 12 施設、認知症高齢者グループホーム 6 施設
- 障がい者自立支援施設 1 施設
- 介護予防事業 一次予防事業を積極的に進めている

#### 運動機能向上事業

- ・週 1 回（2 時間 4 会場 300 円）  
平成 23 年度 228 回開催（延べ 1,526 人）
- ・閉じこもり及び認知症予防教室  
月 4 回または 2 回（2 時間 4 会場 300 円）  
平成 23 年度 208 回開催（延べ 1,745 人）



#### 平成 23 年度特定検診実施状況 岐阜県平均 35.2% 飛騨市 64.7%

健全な国民健康保険事業を行っている飛騨市は、特定検診実施状況において県下 42 市町村で 1 番高く、そのことが医療費の削減に大いに寄与していると思われます。

#### 岐阜県市部で収納率 1 位（平成 20 年）

飛騨市担当職員の話として、

- 「電話での催告を頻繁に行った」 ●「滞納者から要請があれば夜でも出向いた」
- 「2 人 1 組で 2 日に 1 回夜間徴収」 ●「資格証明発行は 1 件のみ 滞納処分なし」など全職員が問題意識を共有し収納率のアップに取り組んでいる。

## 〈長野県高森町〉

### 地域支援センターにおける地域支援事業（平成 21、22、23 年度実績）

#### 介護予防事業

- リハビリ体操教室 ●認知症予防教室 ●高齢者訪問指導 ●介護予防出前講座
- 介護保険・介護予防説明会 ●生活機能評価 ●認知症理解普及講演会

#### 包括的支援事業

- 介護予防ケアマネジメント事業
- 包括的継続的ケアマネジメント

#### 任意事業

- 自立支援ヘルパー支援事業
- 高齢者配食サービス

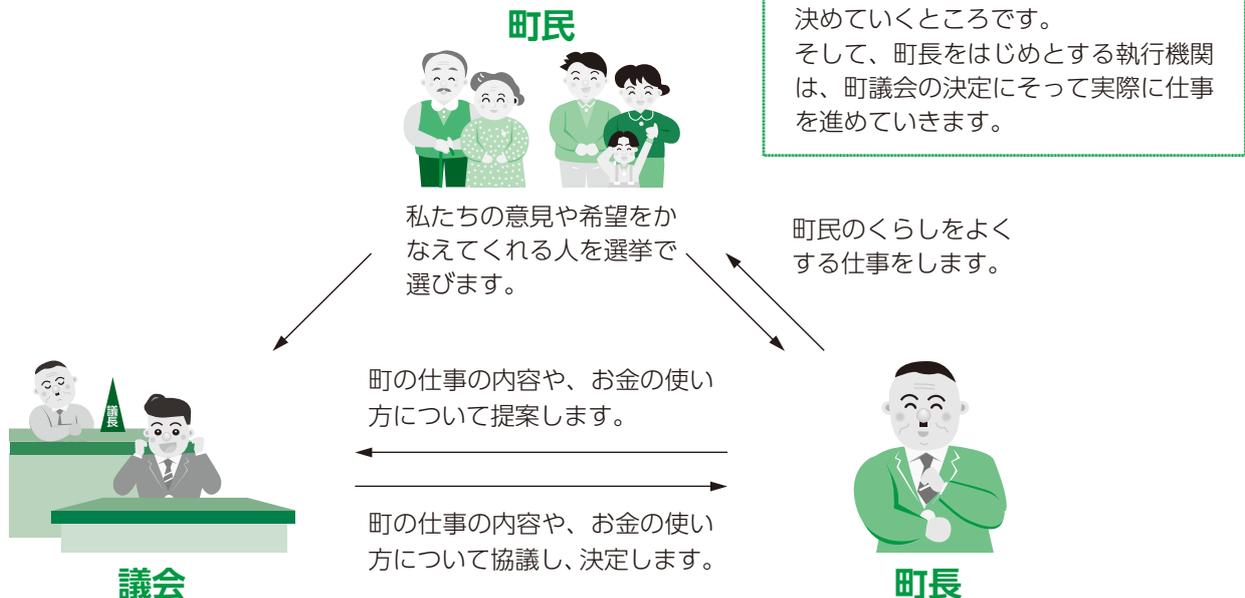
#### 町単独事業

- ミニデイサービス



以上のような事業を通じ、行政として町民の方々が元気で明るく暮らせる努力をしており、全国的にも例を見ない人口増加という大きな要因を形成していると思われる。

## 町議会のやくわりは？



### 東濃高等学校特別授業

御嵩町と東濃高等学校は、幅広い分野にわたって強固な協力体制を築くため、協働・連携に関する協定を締結しており、平成24年11月20日（火）に、御嵩町議会の谷口鈴男議長が、「議会と議員の役割」について、東濃高等学校の生徒に、御嵩町役場 議場で特別授業を行いました。



特別授業の様子

### 亜炭鉱廃坑充てん実証実験

平成24年12月13日（木）御嵩町比衣地内の亜炭鉱廃坑で行われた予防充てん実験（※流動化処理工法）の視察を行いました。

※建設現場で発生した残土や泥土に固化材と水を混練して流動性の高い安定処理土（流動化処理土）を製造し、土工による締固めが難しい狭い隙間等に流し込み、固化後に発揮される強度と高い密度で安定性を確保する方法



実証実験説明



実証実験現場

### 岐阜県町村議会議長会自治功労者表彰

平成24年10月19日(金)に御嵩町議会の佐谷時繁議員、岡本隆子議員、植松康祐議員がふれあい福寿会館で行われた、岐阜県町村議会議長会で自治功労者表彰(議会議員12年以上)を受けられました。



表彰を受けられた議員の皆さん▶  
(左から植松議員、岡本議員、佐谷議員)

## 議会日誌

【24年11月～25年1月】

### 11月

- 1日 菊花展コンクール審査会
- 2日 全国水源の里シンポジウム
- 6日 民生文教常任委員会文教施設訪問
- 7日 総務建設産業常任委員会視察研修
- 8日 総務建設産業常任委員会視察研修
- 11日 可児郡消防連合演習
- 12日 大会「克服」
- 13日 亜炭廃坑対策特別委員会勉強会
- 14日 全国町村議会議長大会
- 15日 全国町村議会議長大会
- 16日 可茂地域市町村議会議員研修会
- 17日 可児農業祭
- 19日 議会運営委員会
- 20日 東濃高校特別授業
- 25日 向陽中学校公開授業、全体会
- 26日 松野湖クリーン作戦
- 27日 民生文教常任委員会協議会
- 29日 総務建設産業常任委員会協議会
- 30日 可児川防災ため池組合管内視察
- 4日 中濃地域農業共済事務組合

### 12月

### 1月

- 5日 議会定例会
- 7日 第4回定例会(初日)
- 9日 岐阜県町村議会議長会
- 11日 可児駅伝競走大会
- 12日 第4回定例会(一般質問等)
- 13日 総務建設産業常任委員会
- 14日 民生文教常任委員会
- 18日 議会運営委員会
- 25日 亜炭鉱廃坑予防充てん実証実験
- 28日 第4回定例会(最終日)
- 28日 議会活性化研究会
- 29日 可児川防災ため池組合議会定例会
- 4日 可茂広域行政事務組合議会定例会
- 6日 可茂町村議会議長会
- 7日 仕事収めの式
- 13日 消防年末夜警激励
- 18日 仕事始めの式
- 25日 消防出初式
- 28日 議会報編集委員会
- 29日 成人式
- 29日 議会運営委員会
- 29日 議会活性化研究会
- 29日 可茂地域町村行政懇話会
- 29日 議会報編集委員会
- 29日 第1回臨時会
- 29日 議会活性化研究会
- 29日 全員協議会



議会報編集委員会の様子

昨年、「ケーブルテレビ可児」での議会一般質問の放映、「議会住民懇談会」の開催など、議会として一歩皆さまの方へ踏み出すことができました。より多くの方に議会の活動を知っていただき、皆が望む住みよい町づくりを目指して努力しています。議会や議会だよりへのご意見やご感想を、大きなものから小さなものまで遠慮なくお寄せ下さい。(A・M)

## 編集後記